

令和8年1月14日

令和7年度第10回教育委員会定例会会議録

鹿児島県教育委員会

令和7年度第10回教育委員会定例会会議録

日時 令和8年1月14日(水)
10時00分～11時00分

場所 教育委員会室

出席者
地頭所教育長
小屋敷委員
堀江委員
馬場委員
桶谷委員
中村委員

(事務局職員)

森豊 副 教 育 長
紺屋 教育次長兼生徒指導総括監
兼廣 総務福利課長
中島 教 職 員 課 長
山元 保健体育課長
泊 総務福利課企画監
尾堂 教職員課人事管理監(小中)
山田 教 職 員 課 参 事
小川 総務福利課課長補佐

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>議案第1号 令和7年度いきいき教育活動表彰の被表彰者の決定について</p>	<p>令和7年度のいきいき教育活動表彰の被表彰者を決定しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決定</p>
<p>議案第2号 学校職員の懲戒処分について</p>	<p>学校職員の非違行為について、公務員としての責任を問おうとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決定</p>

会 議 要 旨

1 開会

2 会議の公開等について

議案第1号、議案第2号及びその他(4)は、非公開で審議する旨教育長から発議があり、全会一致で議決された。

3 令和7年度第9回教育委員会定例会会議録について

令和7年度第9回教育委員会定例会の会議録について、承認する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

4 教育長報告

報告第1号 鹿児島県学校職員の初任給等に関する規則等の一部を改正する規則の制定について

－ 鹿児島県学校職員の初任給等に関する規則等の一部を改正する規則について、教育長の臨時代理により制定したことについて －

〈教職員課長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

(中村委員) 学校職員の初任給について、初任給が上がるということは採用等にも良い影響を与えるので良いことだと思うが、昨年4月又はそれ以前に採用された方と比較した場合、今年の採用者の初任給が上がることで給与額が逆転したり、極端に縮まったりする可能性がある。既に採用されて勤務している職員のモチベーションへの影響が懸念されるが、このような課題への配慮等はどのような状況なのか。

(教職員課長) 御指摘のとおり、既に採用されている方々との給与額については、逆転等が起きるという問題はある。そのため、人事委員会との協議に基づき、そのような問題が生じる可能性のある方々については、各年数に応じて、3号給から1号給の引き上げ措置を講じる予定である。

(中村委員) 全体を見て調整を行うという理解で良いか。

(教職員課長) そのとおりである。

〈質疑終了〉

(教育長) 異議がないので、報告第1号は了解いただいたものとする。

報告第2号 市町村立学校長の任命について

－ 市町村立学校長の任命について、教育長の臨時代理により任命したことについて －

〈教職員課人事管理監（小中）が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

（小屋敷委員） 獅子島小学校は中学校併設とのことだが、小学校の教員と中学校の教員間の情報共有等の状況はどうか。

（人事管理監（小中）） 小学校籍、中学校籍の職員がそれぞれ在籍しているが、非常にまとまりのある学校であると聞いている。また、教頭は、小学校籍であるが、中学校での勤務経験があり、いずれの校種においても力を発揮できる教頭が配置されている。

（小屋敷委員） 教頭は、何年目か。

（人事管理監（小中）） 現在2年目である。

（小屋敷委員） 年度途中から新しく校長に抜擢されているので、職員間の意思疎通や組織の一体感の醸成に努めるとともに、町教委等のバックアップをお願いしたい。

〈質疑終了〉

（教育長） 異議がないので、報告第2号は了解いただいたものとする。

5 その他

- (1) 令和7年度地域が育む「かごしまの教育」県民週間の実施状況について
—令和7年度地域が育む「かごしまの教育」県民週間の実施状況について—

〈総務福利課長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

（馬場委員） 児童、生徒からの意見等があれば教えてほしい。

（総務福利課長） 実施後のアンケートは、学校を対象に実施した結果を主な成果として記載している。学校からのフィードバックによれば、子供たちの普段の様子を見ていただく機会はあまりないため、いきいきと活発な姿を見せていたとのことである。

（馬場委員） 高校における県民週間はどのような実施内容なのか。

（総務福利課長） 各学校で実施された特色ある取組例としては、霧島高校ではスマイルショップ（霧高笑店）と名付けた取組が行われ、観光マネジメ

ント系の生徒が中心となって、駅でショップ運営を行い、多くの方々に参加いただいた。そのほか、この時期には文化的な取組等も各学校で行われている。

(馬場委員) 今後も、この県民週間を契機として様々な取組を実施していただければと思う。

(堀江委員) 県民週間は良い取組だと思っている。課題等の中で、「写真や動画等の撮影について、来校者との情報共有及び周知が難しい」、「より確かな防犯対策をする必要がある」といった意見があったようだが、具体的にどのような問題があったのか。また、それに対して、県教委から指導、助言等をされているのか、教えてほしい。

(総務福利課長) 課題については、各学校が取組を実施する中で、気がかりな点が見意として挙がってきている。例えば、学校を開放している一方で、誰でも来校可能であることに対する安全上の不安がある。受付に協力いただくよう周知していたが、受付をせずに入校された事例もあったと聞いている。また、来校者にはネームタグを配布して、着用を促したり、管理職が校内を巡回して、来校者に声をかけたりすることで来校状況を把握するなどの防犯対策を各学校で行っている状況である。当課としても、来年度実施する際には、現場で行われている取組等の情報を収集して、代表的な取組や実践しやすい方法等を紹介しながら、各学校でこれらの課題が解決できるようにしていきたいと考えている。

(堀江委員) 様々な課題等があると思うが、各学校での取組例を全体に共有していただけると参考になると思うので、よろしくお願ひしたい。

(桶谷委員) 参加者数が4万3000人減少した要因として、私立のオンラインの話があったが、私立の参加校自体も減ったということなのか。

(総務福利課長) 私立においては、今年度の実施率が34.7%であり、昨年度の21.1%から増加している。全体としても79.6%で昨年度より増加している。

(桶谷委員) 各学校で何らかの取組を実施しているが、私立は参加者が少なかったという理解で良いか。

(総務福利課長) ある私立学校の取組において、昨年度は約5万人のオンライン参加があったが、今年度はオンラインでの実施ができなかったと聞いている。この数字が参加者数の減少に大きく影響していると考えている。

(中村委員) 保護者は参加されると思うが、地域の方は、参加しようと思えば誰でも参加できるのか、何か制限があるのか。

(総務福利課長) 県民週間においては、期間中に各学校が実施する取組や行事をホームページ等で案内している。保護者だけでなく地域の方々が学校

を訪れ、授業等の様子を参観することも可能である。また、特色ある取組においては、郷土芸能の保存会の方を講師に招いたり、地域に伝わる伝統的な饅頭づくりをする際に地域の方にも協力していただくなど、地域に開かれた学校を目指して様々な取組を進めているところである。

(中村委員) 学校の行事や教育活動に関係している人たちが参加するということが。

(総務福利課長) 例に挙げたような特徴的な行事をする際は、関係者が講師として来校し、関わることもあるが、一般の地域住民の方々も自由に普段の授業の様子や音楽発表会を参観したりすることができる取組であるため、個人・団体等にかかわらず、参加をいただけるものである。

(中村委員) 鹿児島市内の学校と地方の小規模なコミュニティが確立されている地域とでは、取り組み方等も異なると思うので、それぞれの特色や実情に応じて進めていければ良いと思う。

〈質疑終了〉

(2) 鹿児島をまるごと味わう学校給食の実施について —鹿児島をまるごと味わう学校給食の実施について—

〈保健体育課長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

(小屋敷委員) 実施期間について、学校給食週間は1月24日から1月30日までを中心に設定するとのことだが、今年度は1月26日から30日までが中心という理解で良いか。

(保健体育課長) 学校の行事等にもよるが、大体この期間を中心に、各学校で設定していただき、その期間の中で「鹿児島をまるごと味わう日」を設定して、献立等を計画している。

(小屋敷委員) 26日から30日の期間を中心に、学校や調理場の実情に応じて設定していると理解した。

児童生徒又は家庭地域を対象に、様々な行事を実施されており、鹿児島の郷土料理、特産物など学校と地域社会等との連携という観点からも、非常に良い取組だと思う。実際に児童、生徒や地域家庭等における当該取組の感想や課題については、どのように集約しているのか。集約されていれば、具体的な内容を教えてほしい。

(保健体育課長) 具体的な意見や感想等は集約していないが、例えば、生産者が来校して、食材の生産状況の紹介や、食材を使用した献立を一緒に食して交流するといった取組を通して、子供たち自身の地元への愛着や地元の特産品の状況を知ることにつながっているという声を学校現

場からは聞いている。

(小屋敷委員) 子供たちと地域の方々の双方に良い機会となっていると理解した。

(馬場委員) この期間に県内産だけの食材を取り入れた給食を設定しているとのことだが、普段は県外産の食材も使わざるをえず、この給食週間期間に費用面等で努力をしていただいているという状況なのか。

(保健体育課長) 普段から地場産物の利用促進についてお願いしているところだが、金額面や量の確保という点で、県内産だけでは確保できない部分もある。この給食週間期間は、なるべく県内の地場産物を使った献立を考えていただくようお願いしているところである。

(馬場委員) 給食は1食あたりの金額が決まっていると思うが、この期間において特に金額面で努力されていることがあれば教えてほしい。

(保健体育課長) 給食には1食単価もあるが、月額で調整することが一般的である。地場産物を提供いただくこともあるため、そのような部分で補っている。

〈質疑終了〉

(3) **令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果分析について**
—令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果分析について—

〈保健体育課長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

(桶谷委員) 体力合計点については、中学校2年生女子が全国より低く、昨年度より差が広がったようだが、1週間あたりの総運動時間の割合は多いようである。また、各種目別の結果を見ると、長座体前屈がどの学年においても全国との差が大きいようである。このような状況や改善のための運動例等について、各学校や先生方への情報共有はどのようにされているのか。

(保健体育課長) 長座体前屈、いわゆる柔軟性に関する種目が、全国より下がっている。近年は、毎年全国より少し低い状況が続いており、研修会の際に、柔軟性を高める運動を周知したり、各学校で工夫して柔軟性を高める運動を取り入れるよう依頼したりしている。

〈質疑終了〉

6 議案

議案第1号 **令和7年度いきいき教育活動表彰の被表彰者の決定について**
(非公開)

議案第2号 学校職員の懲戒処分について
(非公開)

7 その他

その他(4) 令和8年度人事異動について
(非公開)

8 閉会